

● Activities ●

都科摩（北京）通信技術研究中心有限公司 創立10周年記念セレモニーの開催

都科摩（北京）通信技術研究中心有限公司（以下、ドコモ北京研究所）は2004年3月に業務を開始して以来、本年で丸10年を迎えたことから、2014年3月28日、北京市内のインターコンチネンタルホテルにて創立10周年記念セレモニーを行いました。

セレモニーの前に、ご来賓の方々に各研究室のパネル展示やデモをご覧いただき、10年間の成長と研究の軌跡をご紹介いたしました。セレモニーでは、ドコモ北京研究所の加山英俊董事長兼総経理と無線アクセス開発部の梅田成視部長の挨拶に続き、中国工業情報化部・電信研究院通信標準研究所の王志勤所長、北京郵電大学元副校長の張英海教授、NTT（持株）中国総代表の稲葉雅人様から暖かい御祝辞をいただきました。その後、ドコモ北京事務所の今村浩所長の乾杯の音頭で開宴いたしました。

セレモニーにはこの他、北京郵電大学の郭軍副校長、同研究生院の王文博常務副院長、同電子工程学

院の劉元安執行院長、および中国の移動通信キャリアである中国移動通信研究院（China Mobile Research Institute）の黄宇紅副院長、未来移動通信論壇（FuTURE FORUM：Future Technologies



写真1 梅田部長挨拶



写真2 メインテーブル

©2014 NTT DOCOMO, INC.
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



写真3 各研究室によるポスター展示

for Universal Radio Environment FORUM)*¹の富軍副秘書長にもお越しいただいた他、NTT持株北京事務所の池上大介技術総監、NTTコミュニケーションズ（中国）北京分公司堂園憲治総経理にもお越しいただき、交流を深める事ができました。

続いてセレモニーでは10年在職表彰の受賞職員、各研究室の最長在職社員、並びに4月入社予定の新入社員によるケーキカットが行われました。その後、北京研10年の歩みを振り返るビデオ、および各研究室のこれまでの10年を振り返り、これから始まる10年への期待や抱負を表明するビデオが上映され、大変好評でした。また演出においては中国伝統芸能の川劇変面^{せんげきへんめん}を鑑賞し、会場の雰囲気が一気に頂点へと達しました。最後はドコモ北京研究所で長年活躍して来た無線アクセス開発部陳嵐担当課長のスピーチでセレモニーを締めくくりました。

ドコモ北京研究所は現在、3GPP Release. 12や将来の移動通信技術に焦点を当て研究を推進しています。また現地の有力大学との共同研究のみならず、研究フォーラムや現地企業などの技術交流も活発



写真4 川劇変面による演出

に行っています。さらに今年からは中国の国家プロジェクト863計画5Gプロジェクトにも初めて参画し、移動通信における日中の技術の発展と協力関係のさらなる深化に貢献していきたいと考えています。

*1 FuTURE FORUM：中国の大学、研究機関および国内外のベンダ、キャリアをメンバとする、将来の移動通信に向けた技術交流および国際協力のためのフォーラム。ドコモも創設メンバとして参加している。